

地域防災力の向上・地域コミュニティの活性化をめざして

# 「平野地区みんなで取り組む防災」

～大雨災害での犠牲者をゼロに！～

北九州市立平野市民センター

## 「1. 地域の概要」

世帯数 1,665

人口 3,620

高齢化率(65歳以上) 42.4%

JR八幡駅から皿倉山への麓へ続き、二つの自治区会から構成されている。  
過去には大きな災害はないが、土砂災害警戒区域に指定された地域も多い。  
住民の防災意識に温度差がある。



## 「2. 活動内容」

### ＜実施にいたる経緯＞

- 高齢者や一人暮らしが多い
- 土砂災害警戒区域に指定された地域も多い
- 近年自然災害が激しさを増し、集中豪雨、台風被害のニュース

…全国的に地域での「共助」が重視

⇒ 防災への取り組みがスタート

(目的) 地域防災力の向上・地域コミュニティの活性化を図る

### ＜事業実施団体＞

平野まちづくり協議会、前田第3・4区自治区会、前田第3・4社会福祉協議会  
民生委員児童委員協議会、平野市民センター

平成30年7月6日に平野川が大雨で氾濫！  
(昭和28年の大水害以来65年振り)



道路に川の水があふれる  
災害は何処でも起こる！

→ 住民の意識を高める

## 「H30年度 実施プログラム」

北九州市危機管理室支援事業「地区 Bousai 会議 全5回」

講師：「NPO法人 好きっちゃ北九州」 入門 真生 氏・藤谷 真利子 氏

～ スローガン「大雨災害での犠牲者をゼロに！」～



## 合同実践訓練実施(北九州市立花尾小学校体育館)



地住民が出演の「伝達・連絡方法DVD」放映



各町内会でルールを話し合う

- 情報の伝達、連絡方法等訓練・・・70名参加
- 備蓄品のアルファ化米で作ったカレーライスの振る舞い

住民たちで話し合った結果→「平野地区防災計画」作成

※ 各町内会長が保域管

「H31年(R元年)度 実施プログラム」  
「地区 Bousai 会議 フォローアップ講座 1」 「火災・防災合同訓練」



「火災・防災合同訓練」



訓練後に備蓄品のアルファ化米で作ったカレーライス 「おいしいね〜♡」

## 「R2年度 実施プログラム」「地区 Bousai 会議フォローアップ講座 2」

### “今、なぜ防災なの？” 東川頭町防災活動報告



避難情報がどのように伝達され、生かされているのか考え、東川頭町内から自然災害の犠牲者を絶対に出さないための自衛組織作りを始めた。

### 東川頭町防災・防犯推進委員会(お助け隊)

◆東川頭町防災・防犯推進委員会メンバー(東川頭町お助け隊) 合計7名

現町内会組織の防犯委員	3名
元・前・現町内会長	3名
地域担当民生委員	1名

1、町内会への防災・防犯委員会発足周知	趣意書とアンケート配布
2、 <u>避難困難者の把握(自治委員さんへ情報依頼)</u>	避難困難者と縁故者との連絡体制確保
3、 <u>避難情報連絡網の見直しと避難援助体制確立</u>	平成30年防災訓練で決めたことの具体化
4、 <u>町内独自のハザードマップ作成と維持管理</u>	
5、 <u>町内人的ハザードマップの完成と維持管理</u>	空き家、一人暮らし高齢者、避難困難者記載
6、町内会会則の改正提案	

## 「R3年度 実施プログラム」

### R3.7.1 「感染症対策を踏まえた避難所運営講習会」

講師：「第1薬科大学」大渡 勝史 氏



コロナ禍での避難所開設・運営について講演後、実際にどのように運営すべきかを、センター内を移動しながら確認、演習をおこなった。  
無症状者・発熱者・配慮の必要な方・体調不良者の受け入れ、正しい消毒の仕方など、細かく指導していただく。

### R3.7.6 「地域と連携した避難所開設・運営モデル事業」研修会

講師：「八幡東区役所 総務企画課 地域防災担当」久松 隼人 氏



北九州市より避難所運営のモデル地区の要請を受け、研修に臨む。災害時における、地域の協力体制の在り方を学ぶ。

### R3.7. 10 「防災気象情報の活用について」

講師：「日本気象予報士会」 永田 健太郎 氏、気象予報士4名



気象に関する用語、梅雨前線・  
台風・地球温暖化・線状降水帯  
について学んだ。

### R3.7.27 「避難所開設・自主研修会」

参加者：まちづくり協議会役員

一つずつ検証しながら、どう動いたら良いかを話し合う。



スペースの確保をどうする？



仕切りは何を貼るかな？

## 「市民センター備蓄品整理、ラベリング」



一枚ずつラベリング

## 「避難所開設・受付・受け入れマニュアル作成」

<p><b>受付準備</b> 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>1. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>2. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>3. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>4. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>5. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>6. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>7. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>8. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>9. 避難所開設前にはたらく準備</p> <p>10. 避難所開設前にはたらく準備</p>	
<p><b>避難所開設準備</b> 避難所開設準備</p> <p>1. 避難所開設準備</p> <p>2. 避難所開設準備</p> <p>3. 避難所開設準備</p> <p>4. 避難所開設準備</p> <p>5. 避難所開設準備</p> <p>6. 避難所開設準備</p> <p>7. 避難所開設準備</p> <p>8. 避難所開設準備</p> <p>9. 避難所開設準備</p> <p>10. 避難所開設準備</p>	
<p><b>避難所開設後の準備</b> 避難所開設後の準備</p> <p>1. 避難所開設後の準備</p> <p>2. 避難所開設後の準備</p> <p>3. 避難所開設後の準備</p> <p>4. 避難所開設後の準備</p> <p>5. 避難所開設後の準備</p> <p>6. 避難所開設後の準備</p> <p>7. 避難所開設後の準備</p> <p>8. 避難所開設後の準備</p> <p>9. 避難所開設後の準備</p> <p>10. 避難所開設後の準備</p>	
<p><b>避難所開設時の対応</b> 避難所開設時の対応</p> <p>1. 避難所開設時の対応</p> <p>2. 避難所開設時の対応</p> <p>3. 避難所開設時の対応</p> <p>4. 避難所開設時の対応</p> <p>5. 避難所開設時の対応</p> <p>6. 避難所開設時の対応</p> <p>7. 避難所開設時の対応</p> <p>8. 避難所開設時の対応</p> <p>9. 避難所開設時の対応</p> <p>10. 避難所開設時の対応</p>	

疑問点などを洗い出し、作成。  
開設時にはパネルとして掲示する。



### R3.8. ～ 「警戒レベル3発令、避難所開設・受け入れ準備！」



台風、大雨で避難所開設指示が出された。  
順序よく設営を開始、受け入れ態勢を整える。

## 3. 事業の成果

### (1) 自衛組織「東川頭お助け隊」結成

- ・個別の事情も把握し、避難したくない人の気持ちに寄り添いながら命を守るために避難を促す

### (2) 平野まちづくり協議会防災への取り組み

- ・地域の民間施設との連携の確立(マンション、老人施設)
- ・自主研修会・防災訓練定例開催

### (3) 市民センター避難所運営に向けての取り組み

- ・市民センター備蓄品整理、準備
- ・避難所開設、受け入れマニュアル作成

## 「4. 今後の課題」

### 課題1

災害への認識は地域温度差がある。  
全体として協力する意識を高めていくことが今後の課題。

### 課題2

現役員・組織の高齢化で将来の活動量の低下が懸念され、次世代の地域活動の担い手の発掘が課題



### ⇒対策 周知の工夫をする

・館内の掲示、防災講座の実施、ホームページ、センターだより

### ⇒対策 次世代の担い手の発掘

- ・多世代交流事業・青少年育成会事業の活性化  
(若い人たちが自然に地元のまちづくり活動に取り組んでいける)
- ・新たな利用者を確保する取り組み、事業の企画力向上
- ・市民センターが親しみやすい集いの場となる

○平野市民センター避難所運営の方針を作成する。

○「平野防災の取り組みコーナー」を設置する。

○防災訓練を年間行事に組み込むなど定例化とする仕組み作りを行う。

○「まちづくり」に向けて、人材確保のリスト作成。

## 一連の防災会議・講座を通じて

※ 防災への取り組みは、まず日頃のご近所づきあいから始まるを実感。

今後も地域づくり・人づくりで元気な平野校区を目指す。

